

伊達氏発祥の地伊達市

～アニメ「政宗ダテニクル」を活用した観光まちづくり～

伊達市 産業部 商工観光課

はじめに

アニメ「政宗ダテニクル」は、伊達氏発祥の地である伊達市の歴史について、アニメを通じて多くの人に知っていただくため、アニメ制作会社のガイナ（当時、福島ガイナックス）と共同で制作したアニメです。主人公は、独眼竜で知られる17代伊達政宗であり、歴代の先祖と力を合わせながら伊達の地域を守るストーリーとなっています。シーンの随所に伊達市の風景や今も実在する建物などが登場します。アニメは、第1話から第6話まで作成しており、平成28年から第1話のYouTube配信がはじまり、今では6話全体で約60万回の視聴回数を数えます。根強いファンもおり、聖地巡礼として現地を訪れる人もいます。本稿では、「政宗ダテニクル」を活用した観光まちづくりの取り組みを紹介します。

1. アニメ制作のきっかけ

伊達市は、伊達政宗に代表される伊達氏発祥の地であり、市内には伊達氏ゆかりの史跡が数多く残されています。17代伊達政宗が戦勝祈願に訪れ、伊達氏の氏神が祀られている梁川八幡神社、伊達氏が長く居城し、中世の庭園が現存する梁川城跡、伊達氏を初めて名乗った初代朝宗の居城跡である高子岡城跡などがあります。特に、梁川城跡の一部は、伊達氏梁川遺跡群として令和元年に国の史跡に指定されており、東北地方の中世の館として内部に庭園跡が確認されているのは、現在のところこの遺跡群のみであり、非常に貴重な遺跡です。

こうした風情漂う史跡が今でも残されており、歴史と文化が息づいています。これらの伊達市固有の歴史資源を多くの人に知ってもらう

ためPR方法を検討しました。

検討が進んでいくと、来訪される方が、伊達氏の歴史巡りや市内街中の周遊観光につながるようにストーリー性を持たせたPRができないかと考え、実写版のドラマ制作や映画の誘致などの意見も出されました。そのような中、ある紹介を受けました。それが当時、「新世紀エヴァンゲリオン」や「ふしぎの海のナディア」などを手掛けていたアニメ制作会社のガイナでした。人気アニメに携わっている企業であることを多くの人知っていましたし、考えていたPR方法とマッチングするものでした。

しかし、様々なPR方法がある中で、アニメを選択するには課題がありました。当時民間企業ではなく、自治体が主導で続編のPRアニメを制作する事例はあまりありませんでした。協議を重ね、舞台となる地域のことや史跡となっている歴史資源を、アニメを活用して、広くPRすることが決定され、平成27年にガイナと伊達市がアニメ「政宗ダテニクル」の共同制作を開始しました。

2. アニメ制作始動

アニメ制作にあたっては、ガイナへ伊達氏のこれまでの歴史を伝え、伊達の地で繰り広げられるストーリー展開をお願いしました。

そして、平成28年に第1話が完成しました。内容は、伊達市を舞台に主人公の17代伊達政宗と政宗を支える歴代の当主が織りなす戦国青春グラフィティ。物語は、17代政宗の「俺が伊達を守る」という言葉からはじまり、市のシンボルでもあり、国の史跡名勝および県立自然公園でもある新日本百名山の名峰霊山から旅がスタートします。登場キャラクターは、歴代の当主のほか政宗にお供する片倉小十郎景綱、正室

となっていた愛姫などが登場します。どのキャラクターも洗練されたビジュアルになっており、それぞれのキャラクターには、アニメをいくつもこなすようなアニメファンの中でも人気のある豪華な声優陣が担当してくださることとなりました。そのようなご縁もあり、アニメファンだけでなく、声優ファンの方々からも注目していただけるようになりました。

完成した第1話を披露する場として、同年4月に伊達市内にて上映会を開催しました。上映会では、第1話上映のほかに声優によるトークショーや政宗ダテニクルのパネル展示などを行い、市内外から約1,000人の方々が集まってくれました。集まった方は、アニメ好き、声優ファン、イベントに興味がある方と様々で、市内はもとより、東北地方や関東地方、遠方では九州地方からと全国から上映を待ち望んだファンをお迎えしました。同年5月には、動画共有サイトYouTubeにて政宗ダテニクル第1話を公開しました。

これに続き、6月には第2話の上映会、YouTube公開を行いました。上映会は、伊達氏ゆかりの地でもある梁川八幡神社に隣接する公園「政宗にぎわい広場」にて開催しました。第1話と第2話の同時上映のほか、ガイナの浅尾社長をお招きして制作トークや販売コーナーを設け、政宗ダテニクルグッズや特産であるイノシシ革製品、地元野菜などを販売しました。市内外から多くの方が訪れ、実際に政宗ダテニクルに描かれている史跡や伊達市の風景を見て、地元の産品に触れ、アニメを通して少しでも伊達市に興味や魅力を感じていただけるように企画しました。

同年11月には、第3話をYouTubeに公開。続いて、翌平成29年2月には、第4話を公開しました。また、同月に第3話と第4話の上映会を開催しました。その後、平成30年3月までに第5話、第6話を制作、公開しました。

約4年間にわたり、政宗ダテニクルの制作を行ったことや政宗ダテニクルののぼり旗などのグッズが目に入ることで、市内での認知度も高まってきました。伊達市には、伊達政宗の先祖（初代から第14代まで）が存在していたという認識が広まり、歴史の再発見、郷土愛を育む機会ともなりました。

また、「アニメツーリズム」という言葉が注目されるようになり、聖地巡礼とも呼ばれていますが、アニメ作品の舞台となった場所へ観光で訪れることを指し、アニメを通して交流人口の増加や地域活性化につながることを期待され、イベントの開催や聖地巡礼ができる伊達氏ゆかりの地の整備など様々な取り組みを行いました。



© ガイナ/福島県伊達市
アニメ「政宗ダテニクル」キービジュアル

3. アニメに関連した取り組み

○政宗ダテニクルキャラクターの活用

登場キャラクターの使用については、伊達市とガイナで著作権を半分ずつ所有しています。市では、職員の名刺や各種パンフレット・チラシなどへキャラクターを活用しており、企業からの使用申請についても推進しています。また、イベント出展時などに使用する法被を作成し、本市の特産品である桃やあんぱ柿、歴史をテーマにデザインしたものを着用してPRしています。この法被は、市の職員に限らず、市をPRする際には関係者に貸し出して幅広くPRに努めています。

○伊達氏ゆかりの地の整備

政宗ダテニクルに登場する梁川八幡神社や梁川城跡、高子岡城跡などの伊達氏ゆかりの地に歴史観光で訪れやすいように、駐車場の整備やキャラクターが表示された施設案内板を設置しました。特に、梁川八幡神社に隣接する形で開

設した公園「政宗にぎわい広場」は、トイレや広場の整備のほか、キャラクターの顔出しパネルや掲示板も設置されています。休憩や散歩、家族連れの利用など親しみやすい場所となっており、上映会の会場としても使用しました。これらの整備により聖地巡礼で訪れた人の目印になり、記念撮影する人やその季節毎の風景の魅力に気付き楽しむ人がいます。



政宗にぎわい広場での上映会の様子

○政宗ダテニクル展

政宗ダテニクル第3話と第4話を制作中の平成29年11月には、伊達市梁川美術館において政宗ダテニクル展を開催しました。アニメの原画や絵コンテ、過去のイベント時の声優サインなど関連した資料を初めて展示しました。また、政宗ダテニクルに登場する聖地を紹介したり、キャラクターとの関連性をPRし、誘客促進を図りました。千葉県や宮城県など県外からもお越しいただき、675名の来館者を数えました。

○伊達なアニメフェス

地元商工会などからアニメ好きの人たちが中心となり、平成29年に伊達市アニメツーリズム実行委員会が設立されました。実行委員会では、アニメを通じて観光誘客促進や地域活性化につなげるため、地元企業や大学などと連携し、様々な企画を考えました。平成30年には、実行委員会の主催で「伊達なアニメフェス2018」を開催。政宗ダテニクル出演声優によるトークショーやコスプレイベントのほか、アニメやゲームのキャラクターを車に装飾する痛車コンテストなどが催され、その様子を一目見ようと多くの家族連れ、イベント参加者らで賑わいました。翌年には2年連続となる「伊達なアニメフェス2019」を開催し、1回目で認知度が広

まったこともあり、多くの参加者を呼び込みました。

また、「伊達なアニメフェス」に合わせて行われた政宗ダテニクルラリーでは、福島学院大学と連携して、ウォークラリー形式のスタンプラリーを実施しました。参加するとノベルティがもらえる特典も学生が中心となり考えました。2年目は、聖地を巡るスタンプラリーを実施し、条件を達成すると声優トークショーのサイン入りグッズや政宗ダテニクルグッズなどの景品が当たる抽選券を準備しました。聖地を巡ることで、その地域に足を運び、風景や街並みに触れていただこうと取り組み、多くの人の参加があり、大盛況となりました。

3年連続となる「伊達なアニメフェス2020」の開催準備を進めていましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により断念せざるを得ませんでした。



伊達なアニメフェス開催の様子

○公用車ラッピングカー、ラッピング車両

本市の歴史と魅力を全国に発信するために普段使用する公用車2台に政宗ダテニクルのデザインラッピングを実施しました。各イベント出展時や出張等に利用し、目立つ色立ちとなっており、走行するだけで多くの人の目にとまるものとなりました。

また、ローカル鉄道の阿武隈急行線と協力して、政宗ダテニクルのデザインをあしらったラッピング車両「政宗ブルーライナー」が登場しました。車内では主人公の17代政宗役を演じる声優の村瀬歩さんがアナウンスを務め、話題を呼んでいます。全国から声優ファンやアニメファン、そして鉄道ファンが一目見よう、体感しようと集まりました。



阿武隈急行ラッピング車両「政宗ブルーライナー」

○等身大フィギュア制作

アニメイベント等での展示や歴史観光に親しみを感じていただけるよう、政宗ダテニクルに登場する初代朝宗と17代政宗の等身大フィギュアを制作しました。今は伊達市の観光拠点である道の駅伊達の郷りょうぜんとまちの駅やながわに飾られており、一目見に来たり、記念撮影をしたりと観光施設で訪れる人をお出迎えます。

4. 事業の継続に向けて

紹介した事例は一例ですが、このほかにも政宗ダテニクルを活用した商品開発等の支援や政宗ダテニクルシアターの開催、全国アニメサミットへの参加など多くの方に伊達市の歴史、魅力に触れていただこうと取り組んでいます。取り組みの甲斐もあり、2019年版から4年連続で「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に選ばれています。ファンの方々から一定の認知を得られていることを示すものでもありました。実際に訪問してアニメの世界感を体験していただけたら幸いだと思っています。

もちろんアニメにも流行りがあったり、そうでなくなる場合もあります。ここ数年は、新型コロナウイルスの影響により以前のようにイベントを開催することが困難な状況になっており、伊達市アニメツーリズム実行委員会も活動を休止しています。そのような中、ガイナでは令和2年に自らが主体となってクラウドファンディングにより「復興応援 政宗ダテニクル合体版+」を制作。全国の映画館で公開されました。

伊達市としても、訪れる機会を増やし、市内

のお店を知っていただこうと、ステージアップ方式のスタンプラリー「ぐるっとパスポート」を実施しました。パスポートや加盟店ののぼり旗にはキャラクターを活用し、街中でキャラクターを目印に市内周遊を楽しめます。また、伊達氏ゆかりの地で政宗ダテニクルのキャラクターとアプリ上で写真撮影ができる「ARダテニクル」を開発しました。まだ梁川城跡を含めて3か所ですが、利用箇所の拡大を進めています。市内でも目にする機会が増え、少しずつではありますが、政宗ダテニクルが地域に浸透してきたと思っています。

コロナ禍で事業の規模を縮小して実施しなければならぬ場合もありますが、アニメを通して伊達市の歴史をさらに多くの人に知っていただくため、また訪れた人に魅力を感じていただけるよう継続して取り組んでいくことが重要だと考えています。

今後もアニメや歴史をきっかけに伊達市に訪れた人が、市内を周遊して楽しく観光できるよう、仕組みづくりと合わせて観光案内や情報発信にも力を入れていきたいと思っています。

5. 終わりに

本稿では、アニメを活用した観光まちづくりについて、実績を踏まえながら取組事例を紹介しました。行政が主動となって実施しましたが、アニメは時に爆発的な盛り上がりをもたせることがあり、今まで伊達市を知らなかったアニメファンや若い世代に響き、実際に九州や四国などから訪れる人がいたことは事実です。アニメには、大きな可能性があると感じています。他の自治体では、また異なる事例もあることと思います。ここで伝えきれない部分もありますが、一つひとつの事業を積み重ね、観光誘客、交流人口・関係人口の増加につながればと考えています。

最後になりますが、現在政宗ダテニクルはアメリカの企業の目にとまり、海外進出のオファーを受け、ガイナが主体となって手続きを進めています。近い将来、続編の制作や世界で配信されることが期待され、世界中の人が政宗ダテニクル、そして、伊達市に少しでも目を向けてくれることを楽しみに願っています。